

2020年11月30日

岡山市教育委員会
教育長 菅野 和良様

東部地区図書館研究会

地区図書館早期建設への要望書

新型コロナウイルスへの対応の中、岡山市の豊かな生活を支える生涯学習行政に尽力されていることに敬意を表します。

私たちは、東部地区に地域の基幹となる10万冊規模の図書館が建設整備されることを願い活動しているグループです。

さて、岡山市民約14万人の暮らす中区には、市立図書館が整備されていません。「岡山市立図書館整備実施計画」(平成14年改訂)でも「基幹となる地区図書館の整備の必要性が非常に高い地域」と示されています。平成26年8月に行った5,935筆集めた竜操学区への図書館建設を求める署名やその陳情の岡山市議会での採択、また、平成28年12月に幡多学区から提出された「中区の防災対策整備と公共施設の集合について」の要望書や、平成31年2月開催の「岡山市立図書館整備実施計画の見直しについて(案)」のパブリックコメントでも明らかになったように、住民は図書館建設を待ち望んでおり、岡山市が応えてくれるのを長い間待っています。

新型コロナウイルスという大きな困難が発生し、模索しながら生活する中、インターネットなど使えない人も含めて、一人ひとりが平等に情報にアクセスできる知的インフラの整備が、地域に必要だと感じました。また、緊急事態宣言下で、図書館は一部サービスの継続を行い、制限の中でも日常の読書がどれだけ私たちの心を豊かにしているかを実感しました。しかし、図書館へ滞在し広い蔵書の中からゆっくり本を選ぶことができなくなったのは、新しい可能性や出会いを広げることができない状況でした。

8月に開催した学習会では、岡山空襲の歴史を集め伝える活動をしている会の方と交流をしました。その中で、岡山市の歴史を学ぶことは、私たちの未来の暮らしの基礎を事実に基づいて考えることであり、生涯学習の大切さを改めて実感しました。図書館は、地域の歴史を収集し、保存し、提供するという大きな役割があります。岡山市のまちづくりとして、豊かな暮らしを支え、市民の知る権利を保障し、市民一人一人の活動の基盤となる図書館建設を進めてください。下記の通り要望いたします。

記

1, 中区へ「岡山市立図書館整備実施計画」(平成14年改訂版)の6, 地区図書館の建設の条件(2)複合施設となる場合の考え方に基づいて地区図書館を設置してください。

2, 一昨年の豪雨災害を受けたこの地域には、図書館を中心とした複合施設(コミュニティハウスや防災拠点など)が必要です。また、新型コロナウイルス感染防止対策として図書館の役割が高まっています。子どもたちのためにも、高齢者のためにも、居心地のよい図書館を造ってください。